**18 『大鏡』**

（隆家）御目のそこなはれひにしこそ、いといと(ア)あたらしかりしか。よろづにつくろはせ給ひしかど、えやませ給はで、御じらひ絶え給へるころので来て、人々(イ)望みののしりしに、①の目つくろふがあなるに見せむとして、「こころみにならばや」とⓐ申しⓑ給ひければ、三条院の御時にて、また(ウ)いとほしくや思し召しけむとなくならせⓒ給ひてしぞかし。（中略）

よくし給ふとてのさながら従ひ申したりければ、の大弐、十人ばかりがほどにて、上り給ヘりとこそ申ししか。

かの国におはしまししほどの者、にはかにの国をうち取らむとや思ひけむ、越え来たりけるに、筑紫にはねて用意もなく、大弐殿弓矢のも知り給はねば、いかがと思しけれど、②やまと心かしこくおはする人にて、・九国の人を起こし給ふをばさることにてのにⓓつかうまつる人をさへおしこりて戦はせ給ひければ、やつが方の者どもいと多く死にけるは。さはいへど、家高くおはしまに、いみじかりし事、らげ給へるぞかし。

語　注

まじらひ＝人々との交際。宮中に出仕すること。

大弐の闕＝の大弐の欠員。

二言となく＝直ちに。二度三度お願いするまでもなく。

筑紫＝筑前・筑後（福岡県）のことであるが、九州全体の意にも用いる。

刀伊国＝沿海州、地方。

この国＝日本の国。

かねて＝前もって。あらかじめ。

肥前・肥後＝佐賀県・長崎県・熊本県。

府＝大宰府。

かやつが方＝「かやつ」は「彼奴」で相手をいやしめていう語。

故＝～のため。～のせい。

問1　波線部(ア)～(ウ)の語句の意味として最も適当なものを、それぞれ次から選べ。（2点×3）

(ア)　ア　むなしい　　イ　目新しい　　ウ　たいせつだ

　　エ　残念だ　　　オ　つらいものだ

〔　　　〕

(イ)　ア　願いがかなうよう祈る

　　イ　希望し大騒ぎする

　　ウ　行きたいと大声で言う

　　エ　すばらしいと評判をたてる

　　オ　自分から評判をたてる

〔　　　〕

(ウ)　ア　気の毒だ　　イ　かわいい　　ウ　困る

　　エ　うれしい　　オ　せつない

〔　　　〕

問2　二重傍線部ⓐ～ⓓの敬語の種類・敬意の対象をそれぞれ次から選べ。（完答で4点×4）

《種類》　　　　ア　尊敬語　イ　謙譲語　ウ　丁寧語

《敬意の対象》　ア　帝　　　イ　隆家　　ウ　作者

　　　　　　　　エ　北の方　オ　読者

ⓐ〔　　・　　〕　　ⓑ〔　　・　　〕

ⓒ〔　　・　　〕　　ⓓ〔　　・　　〕

問3　傍線部①の口語訳として最も適当なものを次から選び、記号を○で囲め。（5点）

ア　唐人で目を治療する人がいると伝え聞き、（それに）診せようとお思いになって、

イ　唐の人が目に効く薬をもっているというので、診せて手に入れたいと思われて、

ウ　唐の人は目の病に詳しいので、診てくれるだろうとお思いになられて、

エ　唐人の医者が目を治療するので、目を診てもらいたいとお思いになって、

オ　唐人の目医者がおられたので、診せるのがよいと思われて、

問4　「隆家」の政治の業績を誇張した箇所を本文中から十五字程度で抜き出せ。（5点）

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問5　傍線部②「やまと心かしこくおはする人」とはどのような人か、答えよ。（6点）

〔　　　　　　　　　　　　　　　〕人

問6　「隆家」の九州での戦いぶりについて。

⑴その説明として最も適当なものを次から選べ。（6点）

ア　唐からの侵略があり、九国を策をもってまとめて勝利した。

イ　迅速に行動し都（帝）の力を借りて、攻めてきた人々を降伏させた。

ウ　弓矢の扱いも知らなかったが、九国、大宰府の人々をまとめ勝利した。

エ　大宰府の人々の反対があったので、筑紫の国だけで戦い和平をした。

オ　もともと知恵の優れた方で侵略者と交渉し、相手が被害を出さないうちに追い返した。

〔　　　〕

⑵作者はこのような事ができた要因を何だとしているか。本文中から十字以内で抜き出し、口語訳して答えよ。（6点）

〔　　　　　　　　　　　　　　　〕から。

練習問題〈敬意の対象〉

次の傍線部の敬語の種類と、誰から誰への敬意かそれぞれ後から選べ。

北の方の御心地いやまさりにりにければ、ことごとなし、「いまひとたび見①たてまつりて死なん、帥殿いまひとたび見たてまつりて死なん」といふことを、寝ても覚めても②のたまへば、宮の御前もいみじう心苦しきことに③しめし、この御はらからの主たち〔＝北の方の兄弟たち〕も、いかなるべきことにかと思ひまはせど、なほいと恐ろし。北の方は切に泣き恋ひ④たてまつりたまふ。（栄花物語）

【敬語の種類】

ア　尊敬語　　イ　謙譲語　　ウ　丁寧語

【人物】

カ　北の方　　キ　帥殿　　ク　宮の御前

ケ　御はらからの主たち　　コ　作者

①〔　　　〕〔　　　〕→〔　　　〕

②〔　　　〕〔　　　〕→〔　　　〕

③〔　　　〕〔　　　〕→〔　　　〕

④〔　　　〕〔　　　〕→〔　　　〕

【解答】

問1　(ア)＝エ　(イ)＝イ　(ウ)＝ア

問2　ⓐイ・ア　ⓑア・イ　ⓒア・イ　ⓓイ・ア

問3　ア

問4　例の大弐、十人ばかりがほどにて（15字）

問5　知恵才覚の優れていらっしゃる（人）

問6　⑴ウ　⑵家柄が高くていらっしゃる（から。）

【練習問題解答＋口語訳】

①イ・カ→キ　②ア・コ→カ　③ア・コ→ク　④イ・コ→キ

《北の方のご病状がどんどん悪くなっていったので、他のことではなく、「帥殿に今一度お会い申し上げてから死にたい、帥殿に今一度お会い申し上げてから死にたい」ということを、寝ても覚めても一日中おっしゃいますので、宮の御前も非常に胸の痛むことだとお思いになり、この北の方の兄弟たちも、どのように対処すべきかと思案するけれども、やはり非常に気がねする。北の方はしきりに泣いて（帥殿を）お慕い申し上げなさる。》